

はじめるまえに

…

◎活動するときに気をつけること

このアクションプログラム集で紹介しているプログラムを行うときは、次のことに注意しましょう。

また、先生や、お家人など、大人の人といっしょに、安全に活動しましょう。

全体として

社会のルールを守る

他の人の道具を使ったり、色々な場所に物を置いたり、スーパー・マーケットなどのお店に入ったりするときは、必ず、その持ち主や管理している人にことわり、それぞれ決められているルールを守りましょう。
交通ルールを必ず守り、事故にあわないように十分注意しましょう。
大きな声でさわいだり、走り回ったり、ものをこわしたりして、周りの人に迷惑をかけることのないよう十分注意しましょう。

出かけるとき

絶対に一人で出かけないようにし、先生や、お家人など、大人の人といっしょに出かけましょう。
どうしても、子どもだけで出かけなければならないときは、必ず、「どこに行くか」「誰と行くか」「何をするか」「いつ帰るか」を、大人の人に伝えてから出かけましょう。

後かたづけ

使い終わった道具や、残った材料などは、置いてあった場所にもどしましょう。

ごみを捨てるときは、それぞれの地域で決められているルールを守り、きちんと分別しましょう。

また、ごみは、美しい風景を台無しにするだけではなく、野生の生き物にも悪いえいきょうを与えるので、野外では、自分の出したごみは、必ず持ち帰りましょう。

落ちているごみを見つけたら、大人の人といっしょに拾いましょう。

屋内では

道具の取り扱い

刃物、火、ガラス製品、薬品などを使うときは、けがや事故のないよう、十分に気をつけましょう。

商品を調べてもいいですか？



5時まで調査に
行って来るね



あと後かたづけをしましょう。



はもの刃物、ガラス製品、薬品の
取り扱いに注意

おくがい

屋外では

危険な場所

立ち入りが禁止されている場所、工事をしている場所、機械や資材・薬品などが置いてある場所、人けが少ない場所、柵などのない高い場所、足元がくずれやすい場所、流れが速い川、大きな波が立つ海岸など、危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。



生き物をつかまえるときは

生き物をつかまえることが禁止されている場所があります。そのほかの場所でも、つかまえてはいけない生き物がいます。

また、生き物をつかまえてよい場所でも、必要以上につかまえることはやめましょう。

つかまえるときは、できるだけ生き物を傷つけないようにし、プログラムが終わった後で、やさしく放してあげましょう。



危険な生き物

野外には、スズメバチやマムシ、ヒグマなどの危険な動物がいたり、ふれるとかぶれるウルシや毒のあるトリカブトのような植物があります。

そのような動物や植物に近づかないように、十分注意しましょう。

また、虫にさされたり、植物にかぶれたりしたときは、すぐ病院に行き、手当を受けましょう。



水辺で注意すること

川岸や海岸などの水辺では、必ず大人の人といっしょにグループで活動し、一人だけでの行動はやめましょう。

川の流れは思った以上に速く、日によって状況が変わります。

流れの速さを確認してから川に入りましょう。

川に入るときは、川底が見えるところで、ひざくらいの深さまでとし、それより深いところには入らないようにしましょう。

はだして入ると危険なので、ぬれてもよい靴をはきましょう。

川底が急に深くなったり、やわらかい泥で足を取られたりすることがあります。

また、川底がコケなどですべりやすくなっている場所もあるので、けがをしないように十分注意しましょう。

